

高尾：陣馬山～高尾山

- ◆日程 2018年12月23日(日)
- ◆メンバー L：須田、佐藤(俊)、大塚、篠原、佐藤(三)、山田(留)
- ◆天候 曇り時々小雨

冬至の頃には、高尾山から富士山の山頂に夕日が沈む『ダイヤモンド富士』を見ることができ。久しぶりに見てみたいと思い、今回計画を立てた。

JR高尾駅北口よりバスに乗る。たくさんハイカーが列を作り、臨時便が先行してその後の7:35発の定時便に乗れた。陣馬高原下で下車し、30分ほど林道を歩くと登山道に取りつく。すぐ後ろから年配の団体御一行が迫ってきたので、急いで山に入る。団体のスピードが速く、こちらも急ぐ。いつもよりハイペースで息が上がった。ポツポツと降り出した雨は陣馬山頂に着くと小雨になった。そこそこハイカーが登っていたが、展望はあまりなく、残念ながら富士山も見えなかった。

陣馬山に登ってしまえば、しばらくは緩やかな尾根歩きになる。後ろから団体が追い付いてきたので道を譲った。数えてみたら38人ものグループで、『20年後の我が横浜山の会みたいだね』と話しながら見送った。その後も大勢のハイカーとすれ違う。トレイルランナーもちらほら走っていた。

明王峠に着くと、いつも閉まっている売店が開いていた。富士山がよく見える場所だが見えない。この先はピークを踏まないまき道が現れる。私たちはまき道を選択した。

景信山に到着。いつもながら沢山のハイカーで賑わい、餅つきもしていた。屋根なしだがテーブル席を見つけ、少雨の中昼食にする。雨が上がると晴れ間も見えて虹が出ていた。



小仏峠まで下ると、地図を売っているおじさんはいなかったが、タヌキたちが出迎えてくれた。この先は登り返しがちょっとツライ。

城山で少し休み一丁平へ向けて下る途中、前を歩いていた佐藤三千世さんが歓喜を上げていたので知り合いかと思ったら、『酒場放浪記』でおなじみの吉田類さんだった。私は存じ上げないが、山登りもする方だそうで、トレードマークのハンチングに薄いサングラス姿の類さん

は、快く記念撮影に応じてくださる気さくな方だった。この後、景信酒場へ行かれたそうだ。

モミジ台に着くと、例年はダイヤモンド富士待ちの宴会グループやカメラマンが大勢場所取りをしているが、この天気ではあまりいない。それでもサンタクロースの帽子を被って宴会をしている人たちもいた。時間も早いので高尾山頂まで行くことにする。

高尾山頂は空いていた。雲の切れ間から太陽の光が差していたが、雲が流れる気配はなく富士山すら見えなかった。2時間ほど待つことになるし、それで見えないのもガッカリなので、今回はここまでとし、一号路を下山した。

曇天で眺望も良くなかったが、久しぶりにたくさん歩き(関東ふれあいの道によると19km)、

いろんな話をして楽しかった。

ダイヤモンド富士は見られず残念でしたが、『来年は高尾山集中山行にしよう』と話題に上がったので、実現したら、是非とも皆さまご参加ください！

(記：山田留)

CT：陣馬高原下 8:15 - 陣馬山 9:33/9:45 - 明王峠 10:24/10:30 - 景信山 11:35/12:30 -
小仏峠 12:55 - 小仏城山 13:15/13:30 - 高尾山 14:33 - 山麓駅 16:00